

I 教養教育科目の履修について

(新しい教養教育の理念)

変化の激しい社会にあって、地球規模の視野、歴史的な視点、多元的な視点で物事を考え、地域や社会、さらに国や異文化の問題に的確に対応していく力を涵養する

(求められる教育)

- ・生涯にわたって学びよりよく生きる主体的な態度
- ・知識基盤社会に求められる基礎的な知識・技能の習得
- ・社会人・市民の一員としての素養と地域・社会の問題を発見し解決する力
- ・専門教育に発展的につなげる力

1 教養教育科目の構成

ア 教養教育科目は、「全学共通科目」「導入教育科目」「外国語科目」「身体・スポーツ科学科目」「基礎教育科目」「日本語・日本事情科目」及び「短期留学プログラム (IPOU) 科目」で構成しています。

イ 全学共通科目は、人文、社会、自然及び総合の4分野に分かれ、主題科目とゼミナール科目で構成しています。

主題科目は以下のテーマごとにおよそ10科目の授業を配置しています。

- I 自己を認識し進路を考える
- II 芸術・文化をつうじて豊かな人間性を養う
- III 国家と社会のしくみを理解する
- IV 産業と経済のしくみを理解する
- V 自然と数理を認識する
- VI 科学・技術を理解する
- VII 福祉・医療からいのちを見つめる
- VIII 他者を理解し共に生きる
- IX 持続可能な世界・地域を構築する
- X 情報ツールを活用する

※平成20年度以前入学生の旧「コア・系」について

平成20年度以前入学生について、各学部の履修規程に挙げられた「人文、社会、自然系」「課題コア」の対象となる授業科目が本年度開講科目の何れに対応するかは、各学部により異なります。所属する学部・学科における履修ガイダンスや「履修の手引」等で確認してください。

ウ 導入教育科目・基礎教育科目は医学部対象の科目です。ただし経済学部対象の基礎演習は、導入教育科目になります。

エ 外国語科目は、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ハンガール語で構成しています。

オ 身体・スポーツ科学科目、日本語・日本事情科目及び短期留学プログラム (IPOU) 科目は、単一で構成しています。(なお、短期留学プログラム科目は医学部には適用されません。)

◎教養教育科目の開講場所（キャンパス）及び対象学部は次のとおりです。

教養教育科目開講場所（キャンパス）及び対象学部一覧

区 分			開講場所 (キャンパス)	教育福祉 科学部	経済学部	医学部	工学部	備 考	
教養教育科目	全学共通科目	主題科目	人文	且野原	○	○	○	○	
			社会		○	○	○	○	
			自然		○	○	○	○	
			総合		○	○	○	○	
		ゼミナール科目	人文・総合		○	○		○	スポーツゼミナールは総合
	導入教育科目			且野原		○			
				挾 間			○		
	外国語科目			且野原	○	○		○	
				挾 間			○		
	身体・スポーツ 科学科目	スポーツ文化科学	且野原	○	○			○	
			且野原	○	○		○	16年度以前入学生対象	
		身体・スポーツ科学	挾 間				○		
	基礎教育科目			挾 間			○		
日本語・日本事情科目			且野原	○	○	○	○	外国人留学生対象	
短期留学プログラム科目			且野原	○	○		○	短期留学プログラム生、 一般学生の受講可	

※科目によっては、○でも学部学科が限定されている場合がありますので、注意してください。

2 単位の基準

教養教育科目等におけるそれぞれの科目の単位基準は、次のとおりです。

科目の区分		1 単位当りの授業時間	備 考
全学共通科目		1 5 時間	ただし、スポーツゼミナールは 30 時間
導入教育科目		1 5 時間	
基礎教育科目		1 5 時間	
外国語科目		3 0 時間	ただし、応用英語 E は 15 時間
身体・スポーツ 科学科目	体育講義（医学部）	1 5 時間	
	スポーツ文化科学	1 5 時間	
	身体・スポーツ科学	3 0 時間	
日本語科目		1 5 時間	ただし、平成 21 年度以前の入学生は 30 時間
日本事情科目		1 5 時間	
短期留学プログラム（IPOU）科目		1 5 時間	
専門基礎科目		1 5 時間	

3 教養教育科目等履修要件

所属する学部・学科における専門科目等の卒業に必要な最低修得単位数は、別に定められていますので、所属する学部・学科の「履修の手引」を参照してください。

4 授業科目・単位数・担当者等一覧

平成 27 年度に開講される教養教育科目の開講授業科目等は、「別表 1」のとおりです。

5 科目別の履修方法及び履修上の注意事項

(1) 全学共通科目

ア 全学共通科目は、一つの授業科目の授業を1学期間履修し、試験等に合格すれば、2単位（ただし、スポーツゼミナールは1単位）が与えられます。

しかし、既に修得した科目を再履修することはできません。平成26年度以前に開講した科目のうち、下記の科目は、平成27年度開講科目と同一の科目とみなしますので、重複履修しても単位は認定されません。

平成15年度開講科目 平成16年度開講科目	平成17年度 開講科目	平成18年度開講科目 平成19年度開講科目	平成20年度 開講科目	平成21年度 開講科目	平成22年度 開講科目	平成23年度開講科目 平成24年度開講科目	平成25年度 開講科目	平成26年度 開講科目	平成27年度 開講科目	担当教員
福祉と技術	福祉と工学技術	福祉と工学技術	福祉と工学技術	福祉と工学技術	福祉と工学技術	福祉と工学技術	福祉と工学技術	福祉と工学技術	福祉と工学技術	池内（工）
くらしの心理学Ⅰ	くらしの心理学	くらしの心理学	くらしの心理学	くらしの心理学	心理学概論	心理学概論	心理学概論	心理学概論	心理学概論	藤田他（教）
音楽の魅力Ⅰ	バロック音楽の世界、 器楽の楽しみ	バロック音楽の世界、 器楽の楽しみ	バロック音楽の世界、 器楽の楽しみ	バロック音楽の世界、 器楽の楽しみ	バロック音楽の世界、 器楽の楽しみ	バロック音楽の世界、 器楽の楽しみ	バロック音楽の世界、 器楽の楽しみ	バロック音楽の世界、 器楽の楽しみ	バロック音楽の世界、 器楽の楽しみ	松田、栗栖 田中、松本、 西村（教）
音楽の魅力Ⅱ	器楽の楽しみ	器楽の楽しみ	器楽の楽しみ	器楽の楽しみ	器楽の楽しみ	器楽の楽しみ	器楽の楽しみ	器楽の楽しみ	器楽の楽しみ	田中、松本、 西村（教）
情報科学入門	情報科学入門	情報科学概論	情報科学の世界	情報科学の世界	情報科学の世界	情報科学の世界	情報科学の世界	情報科学の世界	情報科学の世界	伊藤他（工）
アソシエーション の生命科学	アソシエーション の生命科学	パラサイトから 見た生命	パラサイトから 見た生命	パラサイトから 見た生命		パラサイトから 見た生命				長谷川（医）
		大野川 川から学び、 川で遊ぶ	大野川Ⅰ 川から学び、 川で遊ぶ	大分の水Ⅰ 川から学び、 川で遊ぶ	大分の水Ⅰ	大分の水Ⅰ	大分の水Ⅰ	大分の水Ⅰ	大分の水Ⅰ	大上（教）
			大野川Ⅱ 大野川から世界 へ	大分の水Ⅱ 大分から世界へ	大分の水Ⅱ	大分の水Ⅱ	大分の水Ⅱ	大分の水Ⅱ	大分の水Ⅱ	市原（経）
西洋の社会と 文化Ⅱ		図像学の世界	図像学の世界	図像学の世界	図像学の世界	図像学の世界	図像学の世界	図像学の世界	図像学の世界	高瀬（経・非）
	医療人類学	医療人類学	医療社会学	医療社会学	医療社会学	医療社会学	医療社会学	医療社会学	医療社会学	岩崎（医・非）
	少子高齢化と地 域福祉システム	少子高齢化と 地域福祉社会 (H19)		少子高齢化と地 域福祉社会		少子高齢化と 地域福祉社会 (H23)				奥田（経）
		社会福祉と自己 決定		社会福祉と自立 思想	社会福祉と自立 思想	社会福祉と自立 思想(H24)		社会福祉と自立 思想		衣笠（教）
			大分大学の人 と学問	大分大学の人 と学問（オンデマ ンド）						西村・岡田・ 尾澤（高七）
			EUの政治経済Ⅰ EUの政治経済Ⅱ	EUの政治経済	EUの政治経済	EUの政治経済 (H23)	EUの政治経済	EUの政治経済	EUの政治経済	Stephen Day(経)
		会計のしくみ (H19)			企業会計の基礎	企業会計の基礎		企業会計の基礎		大崎（経）
			分子化学の世界		生活の化学	生活の化学 (H23)		生活の化学	生活の化学	中島（教）
新しい介護、三 好春樹の思想と 方法 (H16)		新しい介護、三 好春樹の思想と 方法 (H18)	新しい介護、三 好春樹の思想と 方法		ケアから導く創 造力＝三好春 樹の思想と方法	ケアから導く創 造力＝三好春 樹の思想と方法				工藤（教）
	児童生活論 (財津他)	児童生活論 (財津他)	児童生活論 (財津・堀越)	児童生活論 (財津・堀越)	生活文化論					財津（教）
		現代アジアの政 治経済（江崎） (H19)		現代アジアの政 治経済（江崎）	現代アジアの政 治と経済	現代アジアの政 治と経済 (H24)		経済発展と貧困 削減		木村（経）
現代社会と企業 (H16)		現代社会と企業 (H18)	現代社会と企業		現代社会と企業	イノベーションと 企業 (H24)		イノベーションと 企業		松尾（経）
				日本近現代史	日本近現代史	近現代日本史	近現代日本史		近現代日本史	合田（経）

平成15年度開講科目 平成16年度開講科目	平成17年度 開講科目	平成18年度開講科目 平成19年度開講科目	平成20年度 開講科目	平成21年度 開講科目	平成22年度 開講科目	平成23年度開講科目 平成24年度開講科目	平成25年度 開講科目	平成26年度 開講科目	平成27年度 開講科目	担当教員
					大分を探ろう	大分の人と学問	大分の人と学問	大分の人と学問	大分の人と学問	古城 他
						コミュニケーション 能力の養成入 門	コミュニケーション 能力の養成入 門Ⅰ	コミュニケーション 能力の養成入 門Ⅰ	コミュニケーション 能力の養成入 門Ⅰ	佐藤裕（経）
						統計学基礎 統計学入門	統計学基礎 統計学入門	統計学基礎 統計学入門		安部（経）
						教養としての機 械と社会のかか わり	教養としての機 械と社会のかか わり	クルマと社会の 関わり	クルマと社会の 関わり	島田（教）
現代天文学と SETI	現代天文学と SETI	現代天文学と SETI	現代天文学と SETI	現代天文学と SETI	現代天文学と SETI	現代天文学と SETI	現代天文学と SETI	現代天文学と SETI	現代天文学と 生命	仲野 誠（教）
			留学準備英語	留学準備英語	留学準備英語	留学準備英語	留学準備英語	留学準備英語	留学準備集中 英語	ホワイト（経）
				日本語6E (文法Ⅱ)	日本語6文法 分析	日本語6文法 分析	日本語6文法 分析	日本語6文法 分析	日本語文法 分析	金森（国七）
				日本語特講1： 言語と社会	日本語特講1： 言語と社会	日本語特講1： 言語と社会	日本語特講1： 言語と社会	日本語特講1： 言語と社会	言語と社会	武原（国七）
				日本語特講2： 大分事情	日本語特講2： 大分事情	日本語特講2： 大分事情	日本語特講2： 大分事情	日本語特講2： 大分事情	大分事情	金森（国七）

イ 授業科目によっては、科目名のあとにローマ数字で「Ⅰ」や「Ⅱ」と付記されているものがありますが、これらは別々の授業科目ですので、双方を履修しても差し支えありません。

ただし、科目のなかには、「Ⅱ」を履修するためには、「Ⅰ」を先に履修していなければならないものもありますので、講義概要（シラバス）の注意事項で確認してください。

ウ 全学共通科目として履修できる授業科目数は、集中講義及びゼミナール科目を除いて、1・2年次生で前期3科目、後期3科目以内に制限されています。

なお、以下の表に掲げる科目は、1・2年次生でも上記の制限対象外となります。

ただし、3年次生以上については、制限はありません。

※工学部学生のうち、工学部で定める履修登録上制限の緩和の適用を受ける者は、上記記載の1・2年次生での履修科目数の制限の適用を受けません。

主題	科目名	備考
Ⅰ 自己を認識し進路を考える	職業とキャリア開発	
Ⅰ 自己を認識し進路を考える	大分の人と学問	
Ⅰ 自己を認識し進路を考える	分大キャンパスライフ入門	
X 情報ツールを活用する	情報リテラシーⅠ	
X 情報ツールを活用する	情報リテラシーⅡ	
X 情報ツールを活用する	情報リテラシーⅢ	
X 情報ツールを活用する	情報処理入門	

エ ゼミナール科目として、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ハンゲル、スポーツ及び国際理解教育を2年次生、もしくは1年次生を対象に開講しています。

オ 2年次生以上の学生を対象にゼミナール科目として、「生涯スポーツ」を開講しています。経済学部と工学部の学生が取得する「生涯スポーツ」の単位は、6種類、6単位を上限とします。

カ 上記以外にも、学部・学科ごとに、卒業に必要な履修上の条件が定められていますので、それぞれの所属する学部の「履修の手引」等で確認してください。

(2) 外国語科目

ア 外国語科目は、各学部で開講科目が多少異なりますが、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ハンガリー語が開講されています。

イ 一つの授業科目の授業を1学期間履修し、試験等に合格すれば、1単位（応用英語Eは2単位）が与えられます。

ウ 外国語科目は、学部により卒業に必要な最低修得単位数が異なりますので、所属する学部の「履修の手引」と併せて履修計画を立ててください。

(3) 身体・スポーツ科学科目

ア 身体・スポーツ科学科目の内「スポーツ文化科学」（且野原キャンパス開講）は1年次生を対象とし、一つの授業を1学期間履修し、試験等に合格すれば2単位が与えられます。

イ 履修方法は、「スポーツ文化科学」の授業科目のうち、前後期を通して自分の所属する学部が対象となっているものの中から1授業科目を選択します。

ウ 同じ授業科目名の場合、〇〇Ⅰは前期に開講されるものを示し、〇〇Ⅱは後期に開講されるものを示します。

エ 1年次生には、履修方法を入学時の学部ガイダンスで詳しく説明します。

オ 学部により履修内容が異なりますので、所属する学部・学科の「履修の手引」等で確認してください。

(4) 日本語・日本事情科目

ア 日本語・日本事情科目は、外国人留学生のために設けられた科目であり、日本人学生は受講することはできません。

イ 平成21年度以前の入学生が日本語科目を履修する場合は科目一覧表備考欄にある「旧科目名」で履修登録をしてください。また、その場合の単位数は「1単位」となります。

ウ 修得した単位は、他の科目の単位に振替えることができます。

エ 上記ウの単位の振替えは、学部や学科によって異なりますので、所属学部の「履修の手引」等で確認してください。

なお、分からない点があれば所属する学部の学務課又は学務係に確認してください。

※ 日本語・日本事情科目の履修上の注意

日本語の授業科目を受講希望する学生は、4月あるいは10月の初めに行われる、プレイスメント・テスト（日程は、国際教育研究センター等の掲示板でお知らせします。）を必ず受けてください。その結果により、受講できる科目が決まります。

(5) 短期留学プログラム (IPOU) 科目
 (International Program at Oita University)

ア 短期留学プログラム (IPOU) 科目は、全て英語による授業を行います。

イ この科目は、学部学生、研究生及び科目等履修生が受講することができます。受講する場合は、下記一覧表のとおりに取り扱いますが、次の事項に関しては、国際教育研究センターの IPOU 担当教員が判断し決定しますので、受講を希望する場合は必ず事前に IPOU 担当教員に確認してください。

- ①日本人学生の英語力の判定について
- ②日本人学生の受講者数の制限について
- ③正規学部留学生の受講の可否について
- ④ IPOU の学生の受講希望者がいない場合の開講の可否について
- ⑤研究生や科目等履修生等の受講の可否について

事 項		学 部		
		教育福祉科学部	経済学部	工学部
自学部教員が担当する科目の受講の可否および科目区分	当該学部学生	受講を認める ----- 教養教育科目とする	受講を認める ----- 専門科目とする	受講を認めない
	他学部学生	受講を認める ----- 受講する学生の所属学部の判断	受講を認める ----- 受講する学生の所属学部の判断	受講を認めない
他学部教員が担当する科目の受講の可否および科目区分	当該学部学生	受講を認める (ただし、工学部教員が担当する科目を除く。)	受講を認める (ただし、工学部教員が担当する科目を除く。)	受講を認める
		教養教育科目とする	教養教育科目とする	教養教育科目とする
国際教育研究センター教員が担当する科目の受講の可否および科目区分		受講を認める	受講を認める	受講を認める
		教養教育科目とする	教養教育科目とする	教養教育科目とする

(平成14年11月18日留学生センター運営委員会承認)
 (平成14年11月27日教養教育協議会承認)

6 外国語の検定試験等の単位認定

外国語の検定試験等に合格した場合は、その成績により本学の単位として認定し、認定された単位は、卒業要件単位に換算することができます。

認定を希望する学生は、所属学部の学務係等に申し出てください。

試験の種類や得点による認定内容は、次のとおりです。

なお、医学部では外国語の検定試験等の単位認定は行っていませんので注意してください。

(1) 英語

学部	試験の種類等 検定試験 段級	T O E F L			TOEIC (TOEIC IP を含む)試験 の評点	認 定 内 容		
		iBT	PBT	CBT		認定科目	認定 単位数	成績 評価
教育福祉科学部	1級	83以上	560以上	220以上	730以上	総合英語及び応 用英語E	6	S
	準1級	68～82	520～559	190～219	600～729		4	
経済学部	1級	83以上	560以上	220以上	730以上	総合英語Ⅰ・Ⅱ 英会話	3	S
	準1級	68～82	520～559	190～219	600～729	総合英語Ⅰ・Ⅱ	2	
工学部 (平成17～24年度 入学生適用)	1級	83以上	560以上	220以上	730以上	英語Ⅰ・英語Ⅱ	6	S
	準1級	68～82	520～559	190～219	600～729		4	
	2級	56～67	480～519	160～189	550～599		4	A
工学部 (平成25年度入学 生から適用)	1級	83以上	560以上	220以上	730以上	英語Ⅰ・英語Ⅱ	6	S
	準1級※	68～82	520～559	190～219	600～729	英語Ⅰ	4	S
						英語Ⅱ	2	A
2級	56～67	480～519	160～189	550～599	英語Ⅰ	4	A	

※準1級で単位認定をする場合は、英語Ⅰ又は英語Ⅱのどちらかを選択すること。

(2) ドイツ語, フランス語, 中国語, ハンゲル

学部	試験の種類等 検定試験	ドイツ語技能 検定試験	実用フランス語 技能検定試験	中国語 検定試験	ハンゲル 能力検定試験	認 定 内 容		
						認定科目	認定単位数	成績評価
教育福祉科学部	4級以上	4級以上	4級以上	4級以上	4級以上	基礎ドイツ語 基礎フランス語	2	S
経済学部	4級以上	4級以上	4級以上	4級以上	4級以上	基礎中国語 基礎ハンゲル	2	認定